

2023 年度版



エコアクション 21

環境経営レポート

(活動期間 2023 年 1 月～2023 年 12 月)

株式会社 三秀

2024 年 11 月 7 日発行

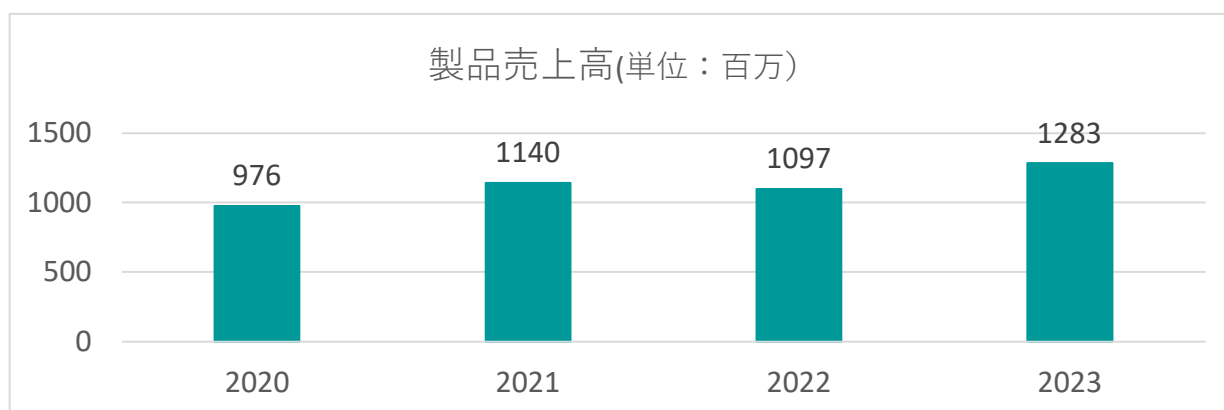
2025 年 1 月 27 日改定

目次

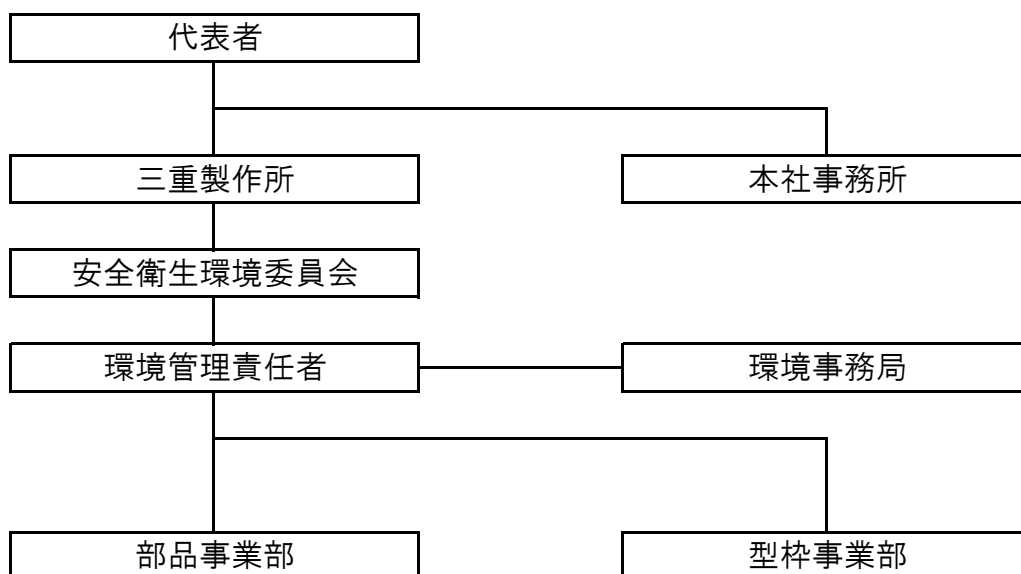
1)	会社概要	P 2
2)	実施体制	P 3
3)	環境経営方針	P 4
4)	環境目標	P 5
5)	環境活動計画	P 6
6)	環境目標の実績	P 7
7)	環境活動の取組み結果と評価、今後の取組み	P 8
8)	環境関連法規等の遵守状況確認、訴訟の有無	P 10
9)	代表者による評価と見直し	P 11

1) 会社概要

事業所名	株式会社 三秀
代表者	代表取締役 塩原 輝久
事業所	本社事務所 東京都中央区茅場町2-14-1 三重製作所 三重県鈴鹿市末広西10-1 (型枠事業部 鈴鹿市稲生町池之下7990-6)
環境管理責任者	型枠事業部長 海上 貴生
連絡先	TEL 059-384-6256
事業内容	建設機械・輸送機器・産業用機器の部品製造及び コンクリート2次製品の型枠設計・製造
事業規模	資本金 8000万 従業員数 60名 三重製作所敷地面積 12034㎡(内型枠3569㎡) 三重製作所建物面積 6895㎡(内型枠1059㎡)
認証登録範囲	全組織・全活動
レポート対象期間	2023年1月～12月



2) 実施体制



責任者	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営方針の策定 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 資源（人員・設備・費用等）の準備 ・ 代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	・ 環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況を代表者に報告 ・ 外部からの苦情等の受付 ・ 環境活動レポートの作成
環境事務局	・ 環境関連文書及び記録の作成・管理等 ・ 環境活動計画の実施状況確認
部門長	・ 部門の環境目標及び環境活動計画の運用管理
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取組みの重要性の理解 ・ 決められたことを守り、省エネ化を実行する。

3) 環境経営方針

基本理念

(株)三秀は、会社自身も社会の一員である自覚を持ち、事業活動を通じて人の健康維持と地球環境保全に積極的且つ継続的に取り組めます。

基本方針

(株)三秀は、以下の方針を全社員に周知し、環境経営活動を行い、環境汚染の防止に努めます。

- ① あらゆる事業活動でエネルギーのロスを削減し、二酸化炭素の排出量削減を推進します。
- ② 節水に努め、水資源の使用量削減を推進します。
- ③ 廃棄物の分別徹底とリサイクルを積極的に行い、廃棄物排出量削減を推進します。
- ④ 環境に関係する法令・法規制・条例等及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- ⑤ 製品・サービスの向上を図り、工程内不良の低減を推進します。
- ⑥ 取組内容を環境経営レポートに取りまとめ、社外に公表します。

令和 3年1月1日 改訂

株式会社 三秀

代表取締役 塩原 輝久

4) 環境目標

環境目標を2020年度～2022年度の環境負荷実績の平均値を、加味しながら目標値を設定するのですが、社会情勢や設備投資による売上額の変動が顕著なため、原単位ではなく総量にて目標を設定することとしました。

三重製作所

項 目	基準年度 —	2023年度 目標1%削減	2024年度 目標2%削減	2025年度 目標3%削減
電力使用量 (kWh)	784,372	776,528	768,685	760,840
ガソリン使用量 (L)	4,628	4,582	4,535	4,489
軽油使用量 (L)	15,730	15,573	15,415	15,258

上水道使用量 (m ³)	58m ³ /月 (上限値)	維持管理	維持管理	維持管理
廃棄物排出量 (m ³)	8.3m ³ /月 (上限値)	維持管理	維持管理	維持管理
グリーン購入の推進 (件数)	12	12	12	12
省資源事業部展開目標	毎年設定	不良削減 型枠修理	不良削減 型枠修理	不良削減 型枠修理
化学物質使用量の維持管理	維持管理（上限値：100kg/月）			
	生産活動には使用しておらず工場保全に使用する塗料が主。			
灯油使用量の実績把握	維持管理（上限値：2000ℓ）			
	休憩所の暖房器具。使用期間を限定。			

本社事務所

本社事務所、2018年8月移転によりデータ収集

項 目	基準年度 —	2023年度 目標1%削減	2024年度 目標2%削減	2025年度 目標3%削減
CO2の総排出量 (kg-CO2)	—	—	—	—
電力使用量 (kWh)	—	—	—	—

※本社については、賃貸物件のため使用量の算出が困難なため、金額でのデータ収集のみとします。

5) 環境活動計画

2023年1月～12月の環境活動計画。

環境目標	具体的取組内容	担当部門
電力使用量の削減	冷暖房使用状況の管理	全社
	休憩時不要な照明の消灯	全社
	歩留まりを向上させる。	三重
ガソリン使用量の削減	エコドライブの励行、燃費の向上を図る。	三重
	車両の整備を行う。（タイヤ空気圧等）	三重
	移動距離の削減を意識する。 (同一地区の客先訪問日程合わせる等)	三重
軽油使用量の削減	エコドライブの励行、燃費の向上を図る。	三重
	車両の整備を行う。（タイヤ空気圧等）	三重
	合い積みなどを考慮し、運行数削減を図る。	三重
水使用量の削減	節水を心がける（節水表示）	全社
	月当たりの使用量が、上限値を超えた場合、原因究明及び対策を講じる。	三重
廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別を行ない再資源化を図る。	全社
	月当たりの排出量が、管理値を大幅に超えた場合、原因究明及び対策を講じる。	三重
	使用済みの砥石を選別し、再利用できるものを使用する。	型枠
グリーン購入	事務用品を対象として展開を行い、成果件数を把握する。	全社
省資源事業部 展開目標	型枠メンテナンス（修理）積極的に行うことによる省資源化	型枠
	不良削減活動の推進	部品
化学物質の管理	油倉庫内化学物質保管量の適正管理を行う。	三重

6) 環境目標の実績

2023年1月～12月の運用期間の実績値。

三重製作所

※二酸化炭素排出係数(2022年度) ガソリン：2.32kg-CO₂/L
電力：0.518kg-CO₂/kWh 軽油：2.58kg-CO₂/L

項 目	2023年度		達成状況
	目標	実績	
CO ₂ の総排出量 (kg-CO ₂)	453,049	383,789	○
電力使用量の削減 (kWh)	776,528	774,999	○
ガソリン使用量削減 (L)	4,582	3,209	○
軽油使用量削減 (L)	15,573	13,491	○

灯油を含んだCO₂総排出量(kg-CO₂)：386,823

上水道使用量の削減 (m ³)	58m ³ /月 (上限値)	維持管理	維持管理	—
廃棄物排出量の削減 (m ³)	8.3m ³ /月 (上限値)	維持管理	管理値超える月有り	×
グリーン購入の推進 (件数)	12	12	65	○
省資源事業部展開目標	毎年設定	不良削減35件以内	23件	○
		型枠修理事件数	423件	—
化学物質使用量の維持管理	100kg/月 (上限値)	維持管理	100kg/月 未満	○
灯油使用量の実績把握	2000ℓ (上限値)	維持管理	1220L	○

本社事務所

項 目	基準年度 —	2023年度		達成状況
		目標	実績	
CO ₂ の総排出量の削減 (kg-CO ₂)	—	—	—	—
電力使用量の削減 (kWh)	—	—	—	—

7) 環境活動の取組み結果と評価、今後の取組み

I 取組結果と評価

三重製作所

項 目	達成状況	評価と次年度の取組内容
CO2の総排出量の削減 (kg-CO2)	○	売り上げが増え生産活動が、活発な中で削減目標が達成されたことは環境に配慮できているということ。電気代等値上げが、されるので更なる配慮を心がける。
電力使用量の削減 (kWh)	○	前年度に続き夏場の使用量が大幅に増えたが、電気代の値上がりもあり節電をしようとする意識が、目標達につながった。
ガソリン使用量削減 (L)	○	社用車が増えたにもかかわらず、目標を達成することができた。引き続きエコドライブを意識した運転を心がける。
軽油使用量削減 (L)	○	仕事量は増えているが、庸車の利用もあり目標を達成することができた。引き続き積み合わせ等を検討しつつ活動を継続する。
上水道使用量の削減 (m ³)	—	両事業部ともしっかりと維持管理されている。継続して活動を行っていく。
廃棄物排出量の削減 (m ³ /百万)	×	型枠事業部は変化はないが、部品事業部の排出量が著しく増えているので要因の究明と目標値の見直しも合わせて検討していく。
グリーン購入の推進 (件数)	○	グリーンマークの付いた製品が、増えたのも相まって順調にグリーン購入の件数が増えている。継続してグリーンマークを意識する。
省資源事業部展開目標	○	不良削減についても目標をクリアしており、型枠のメンテナンスについては件数を大きく増やしている。継続して活動を行っていく。
化学物質使用量の維持管理	—	規定量の管理が正常に行われていた。次年度も継続する。
灯油使用量の実績把握	—	暖房器具が適正に使用されていた。次年度も継続する。

本社事務所

項 目	達成状況	評価と次年度の取組内容
CO2の総排出量の削減 (kg-CO2)	—	休憩時、不在時の消灯またエアコンの温度管理など節電に対する意識付けが、できている。継続して活動を行う。
電力使用量の削減 (kWh)	—	

Ⅱ 次年度以降の中期目標

三重製作所

項 目	2023年度 目標1%削減	2024年度 目標2%削減	2025年度 目標3%削減
電力使用量 (kWh)	776,528	768,685	760,840
ガソリン使用量 (L)	4,582	4,535	4,489
軽油使用量 (L)	15,573	15,415	15,258

※上記数値は” 毎月の使用量/その月の売上” の月毎の年間平均値です。

本社事務所

項 目	2023年度 目標1%削減	2024年度 目標2%削減	2025年度 目標3%削減
CO2の総排出量 (kg-CO2)	—	—	—
電力使用量 (kWh)	—	—	—

※本社については、賃貸物件のため使用量の算出が困難なため、金額でのデータ収集のみとします。

8) 環境関連法規等の遵守状況確認、訴訟の有無

当社に適用となる主な法規制等 評価日：2021.4.30

法規制等	法令の要求事項	遵守状況
振動規正法 三重県生活環境の保全に関する条例 (第7・22条)	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
騒音規正法 三重県生活環境の保全に関する条例 (第7・22条)	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡。リサイクル料金。	遵守
フロン排出抑制法	特定製品の定期点検・記録保管、廃棄時の適正回収・破壊措置義務	遵守
廃棄物処理及び清掃に関する法律	運搬・処分業者への委託契約 マニフェスト交付・状況報告 保管場所の明示・保管基準 処理委託業者への実地確認	遵守
消防法 鈴鹿市火災予防条例	設置許可取得 構造取扱基準遵守・危険物保安監督者届出・ 少量危険物貯蔵届出	遵守
労働安全衛生法 機械等の規則 有機則 特定化学物質障害予防規制 (金属アーク溶接作業)	自主点検記録保管・SDS周知 有機溶剤作業主任者の選出及び特殊健康診断 実施記録保管及び設備点検記録等届出。 特殊健康診断の実施 呼吸用保護具のフィットテストの実施	遵守
三重県津環境保全に関する条例(第15条)	アイドリングストップ周知義務	遵守
水質汚濁防止法	油水分離槽定期点検・事故時の措置	遵守
浄化槽法	浄化槽設置届・保守点検・清掃・法定検査	遵守
公害防止組織の整備に関する法律	騒音振動関係公害防止管理者・公害防止統括者の選任届	遵守
自動車NOX・PM法	適合車使用・適正な点検及び燃料の使用	遵守

当社事業活動で環境関連法規の違反は、確認の結果ありませんでした。また関係機関からの指摘、外部からの苦情・訴訟は、過去3年間ありません。

9) 代表者よる全体の評価と見直し

2023年度活動では、CO₂の排出については目標達ししており、活動内容については有効だと考えられるので、継続して活動を行ってください。部品事業部で、今年度未達に終わった産業廃棄物の排出量においては、製造設備の入れ替え、工場レイアウトの変更等もあり増加したものと考えられる。引き続き活動を行って、改善しないようであれば要因を精査し目標値の見直しも含めて検討を行ってください。

2024年1月31日

株式会社 三秀

塩原 輝久